

受託研究報告書

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の不活化性試験

2021年12月10日
山口大学共同獣医学部
早坂 大輔

試験実施者	山口大学共同獣医学部 早坂大輔、下田宙
試験依頼者	有限会社やまがたスリートップ
試験名	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の不活化効果検証
試験開始日	2021年11月1日
試験サンプル名	ホッキ貝殻焼成粉末 0.1% ホッキ貝殻焼成粉末 加湿器用 5倍希釈液
供試ウイルス	SARS-CoV-2 デルタ株
試験方法	<p>1. 900 μl の SARS-CoV-2 (MilliQ で 10 倍希釈) に対して、各サンプル液を 100 μl 加え、室温に静置した。</p> <p>2. ホッキ貝殻焼成粉末 0.1% では 30 秒、1 分、2 分後、ホッキ貝殻焼成粉末 加湿器用 5 倍希釈液では 30 分、60 分後に、各反応液を 10 倍階段希釈した。</p> <p>3. VeroE6/TMPRSS2 細胞を用いて、プラーク法によりウイルス力価を測定した。</p>
結果	<p>ホッキ貝殻焼成粉末 0.1% では、30 秒、1 分、2 分後のいずれにおいてもウイルス力価が検出限界以下となった (減少率 > 99.8%)。</p> <p>ホッキ貝殻焼成粉末 加湿器用 5 倍希釈液では、30 分、60 分後のいずれにおいてもウイルス力価が検出限界以下となった (減少率 > 99.8%)。</p>

ウイルス力価の減少量 (log pfu/ml)

